

報告品目・新キット製品が薬価収載されましたのでお知らせいたします。

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	備考	
1	333	内用薬	リクシアナOD錠15mg	15mg1錠	294.20円	第一三共	エドキサバン ントシル酸 塩水和物	○非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制 ○静脈血栓塞栓症(深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症)の治療及び再発抑制 ○下記の下肢整形外科手術施行患者における静脈血栓塞栓症の発症抑制	○非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制 通常、成人には、エドキサバンとして以下の用量を1日1回経口投与する。 体重60kg以下：30mg 体重60kg超：60mg なお、腎機能、併用薬に応じて1日1回30mgに減量する。	再審査期間中の剤形追加	
			リクシアナOD錠30mg	30mg1錠	538.40円						○静脈血栓塞栓症(深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症)の治療及び再発抑制 通常、成人には、エドキサバンとして以下の用量を1日1回経口投与する。 体重60kg以下：30mg 体重60kg超：60mg なお、腎機能、併用薬に応じて1日1回30mgに減量する。
			リクシアナOD錠60mg	60mg1錠	545.60円						○下記の下肢整形外科手術施行患者における静脈血栓塞栓症の発症抑制 膝関節全置換術、股関節全置換術、股関節骨折手術 通常、成人には、エドキサバンとして30mgを1日1回経口投与する。
2	392	内用薬	ジャドニユ顆粒分包90mg	90mg1包	1433.80円	ノバルティス ファーマ	デフェラシ ロクス	輸血による慢性鉄過剰症 (注射用鉄キレート剤治療が不適当な場合)	通常、デフェラシロクスとして12mg/kgを1日1回、経口投与する。 なお、患者の状態により適宜増減するが、1日量は18mg/kgを超えないこと。	新剤形	
			ジャドニユ顆粒分包360mg	360mg1包	5707.70円						
3	399	内用薬	エルカルチンFF内用液10%分包5mL	10%5mL1包	362.00円	大塚製薬	レボカルニチン	カルニチン欠乏症	通常、成人には、レボカルニチンとして、1日1.5~3g(15~30mL)を3回に分割経口投与する。なお、患者の状態に応じて適宜増減する。 通常、小児には、レボカルニチンとして、1日体重1kgあたり25~100mg(0.25~1mL)を3回に分割経口投与する。なお、患者の状態に応じて適宜増減する。	再審査期間中の規格追加	
			エルカルチンFF内用液10%分包10mL	10%10mL1包	724.00円						
4	429	内用薬	タシグナカプセル50mg	50mg1カプセル	1289.20円	ノバルティス ファーマ	ニロチニブ 塩酸塩水和物	慢性期又は移行期の慢性骨髄性白血病	通常、成人にはニロチニブとして1回400mgを食事の1時間以上前又は食後2時間以降に1日2回、12時間毎を目安に経口投与する。ただし、初発の慢性期の慢性骨髄性白血病の場合には、1回投与量は300mgとする。なお、患者の状態により適宜減量する。	再審査期間中の規格追加	
5	218	注射薬	レバーサ皮下注420mgオートミニドージャー	420mg3.5mL1キット	44,481円	アステラス・ アムジェン・ バイオファーマ	エボロクマブ (遺伝子組換え)	家族性高コレステロール血症、高コレステロール血症 ただし、心血管イベントの発現リスクが高く、HMG-CoA還元酵素阻害剤で効果不十分な場合に限る。	家族性高コレステロール血症ヘテロ接合体及び高コレステロール血症： 通常、成人にはエボロクマブ(遺伝子組換え)として420mgを4週間に1回皮下投与する。 家族性高コレステロール血症ホモ接合体： 通常、成人にはエボロクマブ(遺伝子組換え)として420mgを4週間に1回皮下投与する。効果不十分な場合には420mgを2週間に1回皮下投与できる。なお、LDLアフェレーシスの補助として本剤を使用する場合は、開始用量として420mgを2週間に1回皮下投与することができる。	再審査期間中の剤形追加	

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
6	239	注射薬	インフリキシマブBS点滴静注用100mg〔CTH〕	100mg1瓶	56,382円	セルトリオン・ヘルスケア・ジャパン	インフリキシマブ（遺伝子組換え）〔インフリキシマブ後続1〕	<p>既存治療で効果不十分な下記疾患</p> <p>関節リウマチ（関節の構造的損傷の防止を含む）</p> <p>尋常性乾癬，関節症性乾癬，膿疱性乾癬，乾癬性紅皮症</p> <p>次のいずれかの状態を示すクローン病の治療及び維持療法（既存治療で効果不十分な場合に限り）</p> <p>中等度から重度の活動期にある患者</p> <p>外瘻を有する患者</p> <p>中等症から重症の潰瘍性大腸炎の治療（既存治療で効果不十分な場合に限り）</p>	<p>&lt;関節リウマチ&gt;</p> <p>通常，インフリキシマブ（遺伝子組換え）〔インフリキシマブ後続2〕として，体重1kg当たり3mgを1回の投与量とし点滴静注する。初回投与後，2週，6週に投与し，以後8週間の間隔で投与を行うこと。</p> <p>なお，6週の投与以後，効果不十分又は効果が減弱した場合には，投与量の増量や投与間隔の短縮が可能である。これらの投与量の増量や投与間隔の短縮は段階的に行う。1回の体重1kg当たりの投与量の上限は，8週間の間隔であれば10mg，投与間隔を短縮した場合であれば6mgとする。また，最短の投与間隔は4週間とする。本剤は，メトトレキサート製剤による治療に併用して用いること。</p> <p>&lt;乾癬&gt;</p> <p>通常，インフリキシマブ（遺伝子組換え）〔インフリキシマブ後続2〕として，体重1kg当たり5mgを1回の投与量とし点滴静注する。初回投与後，2週，6週に投与し，以後8週間の間隔で投与を行うこと。</p> <p>&lt;クローン病&gt;</p> <p>通常，インフリキシマブ（遺伝子組換え）〔インフリキシマブ後続2〕として，体重1kg当たり5mgを1回の投与量とし点滴静注する。初回投与後，2週，6週に投与し，以後8週間の間隔で投与を行うこと。</p> <p>なお，6週の投与以後，効果が減弱した場合には，体重1kg当たり10mgを1回の投与量とすることができる。</p> <p>&lt;潰瘍性大腸炎&gt;</p> <p>通常，インフリキシマブ（遺伝子組換え）〔インフリキシマブ後続2〕として，体重1kg当たり5mgを1回の投与量とし点滴静注する。初回投与後，2週，6週に投与し，以後8週間の間隔で投与を行うこと。</p>	バイオ後続品

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
7	239	注射薬	インフリキシマブ B S点 滴静注用100mg「あゆみ」	100mg1瓶	56,382円	ヤクハン製薬	インフリキシマブ（遺伝子組換え）【インフリキシマブ後続2】	<p>既存治療で効果不十分な下記疾患</p> <p>関節リウマチ（関節の構造的損傷の防止を含む）</p> <p>尋常性乾癬，関節症性乾癬，膿疱性乾癬，乾癬性紅皮症</p> <p>次のいずれかの状態を示すクローン病の治療及び維持療法（既存治療で効果不十分な場合に限る）</p> <p>中等度から重度の活動期にある患者</p> <p>外瘻を有する患者</p> <p>中等症から重症の潰瘍性大腸炎の治療（既存治療で効果不十分な場合に限る）</p>	<p>&lt;関節リウマチ&gt;</p> <p>通常，インフリキシマブ（遺伝子組換え）【インフリキシマブ後続2】として，体重1kg当たり3mgを1回の投与量とし点滴静注する。初回投与後，2週，6週に投与し，以後8週間の間隔で投与を行うこと。</p> <p>なお，6週の投与以後，効果不十分又は効果が減弱した場合には，投与量の増量や投与間隔の短縮が可能である。これらの投与量の増量や投与間隔の短縮は段階的に行う。1回の体重1kg当たりの投与量の上限は，8週間の間隔であれば10mg，投与間隔を短縮した場合であれば6mgとする。また，最短の投与間隔は4週間とする。本剤は，メトトレキサート製剤による治療に併用して用いること。</p> <p>&lt;乾癬&gt;</p> <p>通常，インフリキシマブ（遺伝子組換え）【インフリキシマブ後続2】として，体重1kg当たり5mgを1回の投与量とし点滴静注する。初回投与後，2週，6週に投与し，以後8週間の間隔で投与を行うこと。</p> <p>&lt;クローン病&gt;</p> <p>通常，インフリキシマブ（遺伝子組換え）【インフリキシマブ後続2】として，体重1kg当たり5mgを1回の投与量とし点滴静注する。初回投与後，2週，6週に投与し，以後8週間の間隔で投与を行うこと。</p> <p>なお，6週の投与以後，効果が減弱した場合には，体重1kg当たり10mgを1回の投与量とすることができる。</p> <p>&lt;潰瘍性大腸炎&gt;</p> <p>通常，インフリキシマブ（遺伝子組換え）【インフリキシマブ後続2】として，体重1kg当たり5mgを1回の投与量とし点滴静注する。初回投与後，2週，6週に投与し，以後8週間の間隔で投与を行うこと。</p>	バイオ後続品

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
8	239	注射薬	インフリキシマブ B S点 滴静注用100mg「日医 工」	100mg1瓶	56,382円	日医工	インフリキシマブ（遺伝子組換え）【インフリキシマブ後続2】	<p>既存治療で効果不十分な下記疾患</p> <p>関節リウマチ（関節の構造的損傷の防止を含む）</p> <p>尋常性乾癬，関節症性乾癬，膿疱性乾癬，乾癬性紅皮症</p> <p>次のいずれかの状態を示すクローン病の治療及び維持療法（既存治療で効果不十分な場合に限り）</p> <p>中等度から重度の活動期にある患者</p> <p>外瘻を有する患者</p> <p>中等症から重症の潰瘍性大腸炎の治療（既存治療で効果不十分な場合に限り）</p>	<p>&lt;関節リウマチ&gt;</p> <p>通常，インフリキシマブ（遺伝子組換え）【インフリキシマブ後続2】として，体重1kg当たり3mgを1回の投与量とし点滴静注する。初回投与後，2週，6週に投与し，以後8週間の間隔で投与を行うこと。</p> <p>なお，6週の投与以後，効果不十分又は効果が減弱した場合には，投与量の増量や投与間隔の短縮が可能である。これらの投与量の増量や投与間隔の短縮は段階的に行う。1回の体重1kg当たりの投与量の上限は，8週間の間隔であれば10mg，投与間隔を短縮した場合であれば6mgとする。また，最短の投与間隔は4週間とする。本剤は，メトトレキサート製剤による治療に併用して用いること。</p> <p>&lt;乾癬&gt;</p> <p>通常，インフリキシマブ（遺伝子組換え）【インフリキシマブ後続2】として，体重1kg当たり5mgを1回の投与量とし点滴静注する。初回投与後，2週，6週に投与し，以後8週間の間隔で投与を行うこと。</p> <p>&lt;クローン病&gt;</p> <p>通常，インフリキシマブ（遺伝子組換え）【インフリキシマブ後続2】として，体重1kg当たり5mgを1回の投与量とし点滴静注する。初回投与後，2週，6週に投与し，以後8週間の間隔で投与を行うこと。</p> <p>なお，6週の投与以後，効果が減弱した場合には，体重1kg当たり10mgを1回の投与量とすることができる。</p> <p>&lt;潰瘍性大腸炎&gt;</p> <p>通常，インフリキシマブ（遺伝子組換え）【インフリキシマブ後続2】として，体重1kg当たり5mgを1回の投与量とし点滴静注する。初回投与後，2週，6週に投与し，以後8週間の間隔で投与を行うこと。</p>	バイオ後続品

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
9	399	注射薬	エルカルチンFF静注 1000mgシリンジ	1,000mg5mL 1筒	1,035円	大塚製薬	レボカルニチン	カルニチン欠乏症	通常、レボカルニチンとして1回体重1kgあたり50mgを3～6時間ごとに、緩徐に静注（2～3分）又は点滴静注する。なお、患者の状態に応じて適宜増減するが、1日の最大投与量は体重1kgあたり300mgとする。 血液透析に伴うカルニチン欠乏症に対しては、通常、レボカルニチンとして体重1kgあたり10～20mgを透析終了時に、透析回路静脈側に注入（静注）する。なお、患者の状態に応じて適宜増減する。	新キット製品
10	429	注射薬	リツキシマブB S点滴静注100mg「KHK」	100mg10mL 1瓶	24,930円	サンド	リツキシマブ（遺伝子組換え） 【リツキシマブ後続1】	○CD20陽性のB細胞性非ホジキンリンパ腫 ○免疫抑制状態下のCD20陽性のB細胞性リンパ増殖性疾患 ○ヴェゲナ肉芽腫症、顕微鏡的多発血管炎	1.（CD20陽性のB細胞性非ホジキンリンパ腫に用いる場合） 通常、成人には、リツキシマブ（遺伝子組換え）【リツキシマブ後続1】として1回量375mg/m <sup>2</sup> を1週間間隔で点滴静注する。最大投与回数は8回とする。他の抗悪性腫瘍剤と併用する場合は、併用する抗悪性腫瘍剤の投与間隔に合わせて、1サイクルあたり1回投与する。 維持療法に用いる場合は、通常、成人には、リツキシマブ（遺伝子組換え）【リツキシマブ後続1】として1回量375mg/m <sup>2</sup> を点滴静注する。投与間隔は8週間を目安とし、最大投与回数は12回とする。 （免疫抑制状態下のCD20陽性のB細胞性リンパ増殖性疾患に用いる場合） 通常、リツキシマブ（遺伝子組換え）【リツキシマブ後続1】として1回量375mg/m <sup>2</sup> を1週間間隔で点滴静注する。最大投与回数は8回とする。 （ヴェゲナ肉芽腫症、顕微鏡的多発血管炎に用いる場合） 通常、成人には、リツキシマブ（遺伝子組換え）【リツキシマブ後続1】として1回量375mg/m <sup>2</sup> を1週間間隔で4回点滴静注する。 2. 本剤は用時生理食塩液又は5%ブドウ糖注射液にて10倍に希釈調製し使用する。	バイオ後続品
			リツキシマブB S点滴静注500mg「KHK」	500mg50mL 1瓶	122,143円					

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	備考																												
11	634	注射薬	アコアラン静注用1800	1,800国際単位1瓶(溶解液付)	84,861円	協和発酵キリン	アンチトロンピン ガンマ(遺伝子組換え)	先天性アンチトロンピン欠乏に基づく血栓形成傾向  アンチトロンピン低下を伴う播種性血管内凝固症候群(DIC)	1.血液凝固能検査等の出血管理を十分行いつつ使用すること。  2.DICにおいてヘパリンを併用する場合は、通常ヘパリン10,000単位を1日持続点滴することが適当と考えられるが、臨床症状により適宜増減すること。ただし、ヘパリンの投与は1時間当たり500単位を超えないこと。  3.本剤の用量変更時には、アンチトロンピン活性を確認することが望ましい。	再審査期間中の規格追加																												
12	121	外用薬	エムラバッチ	1枚	251.60円	佐藤製薬	リドカイン / プロピトカイン	1.皮膚レーザー照射療法時の疼痛緩和  2.注射針・静脈留置針穿刺時の疼痛緩和	<成人> 通常、成人には、レーザー照射予定部位又は注射針・静脈留置針穿刺予定部位に60分間貼付する。なお、1回あたりの貼付枚数は10枚までとし、貼付時間は120分を超えないこと。  <小児> 通常、小児等には、レーザー照射予定部位又は注射針・静脈留置針穿刺予定部位に60分間貼付する。なお、1回あたりの貼付枚数は10枚までとし、貼付枚数及び貼付時間は下表を超えないこと。  <table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢 (月齢)</th> <th>体重</th> <th>最大 貼付枚数</th> <th>最大 貼付時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0~2ヶ月</td> <td>/</td> <td>1枚</td> <td>60分</td> </tr> <tr> <td>3~11ヶ月</td> <td>5kg以下</td> <td>1枚</td> <td>60分</td> </tr> <tr> <td>3~11ヶ月</td> <td>5kg超</td> <td>2枚</td> <td>60分</td> </tr> <tr> <td>1~14歳</td> <td>5kg以下</td> <td>1枚</td> <td>60分</td> </tr> <tr> <td>1~14歳</td> <td>5kg超10kg以下</td> <td>2枚</td> <td>120分</td> </tr> <tr> <td>1~14歳</td> <td>10kg超</td> <td>10枚</td> <td>120分</td> </tr> </tbody> </table>	年齢 (月齢)	体重	最大 貼付枚数	最大 貼付時間	0~2ヶ月	/	1枚	60分	3~11ヶ月	5kg以下	1枚	60分	3~11ヶ月	5kg超	2枚	60分	1~14歳	5kg以下	1枚	60分	1~14歳	5kg超10kg以下	2枚	120分	1~14歳	10kg超	10枚	120分	再審査期間中の剤形追加
年齢 (月齢)	体重	最大 貼付枚数	最大 貼付時間																																			
0~2ヶ月	/	1枚	60分																																			
3~11ヶ月	5kg以下	1枚	60分																																			
3~11ヶ月	5kg超	2枚	60分																																			
1~14歳	5kg以下	1枚	60分																																			
1~14歳	5kg超10kg以下	2枚	120分																																			
1~14歳	10kg超	10枚	120分																																			

- ・内容についての詳細な情報又は正確な情報は、添付文書等をご参照下さい。
- ・薬価に関する情報は「官報」でもご確認下さい。
- ・承認に関する情報は「医薬品医療機器情報提供ホームページ」の新薬の承認に関する情報もご参照下さい。
- ・医薬品薬価マスターに関する情報は「診療報酬情報提供サービス」をご参照下さい。
- ・医薬品コードに関する情報は「薬価基準収載医薬品コード表(MEDIS-DC提供)」をご参照下さい。